



記者発表資料

おんまえだ
国道246号御前田交差点で地元自治会の皆様と実施した
渋滞対策の効果をお知らせします。

御前田自治会の皆様と共同でおこなった小さな対策が、大きな成果を上げましたので、お知らせいたします。

【効果】

- ①市道霧が丘長津田線の最大渋滞長が約5割(580m)減少
- ②市道霧が丘長津田線(長津田方面)渋滞発生時において、
信号1サイクルあたりの直進・左折の通過台数が約1割増加

【概要】

1日約6万6千台が通行する国道246号と市道霧が丘長津田線が交差する御前田交差点は、周辺に長津田駅や商業施設も存在し、人と車の混雑が特に激しい交差点です。

同交差点では平成20年12月20日から御前田自治会の方々と横浜国道事務所、緑警察署、横浜市で渋滞対策についての意見交換等を実施し、右折レーン延伸と停止線位置の前出し、交通安全標語ステッカー設置を実施しました。



発表記者クラブ

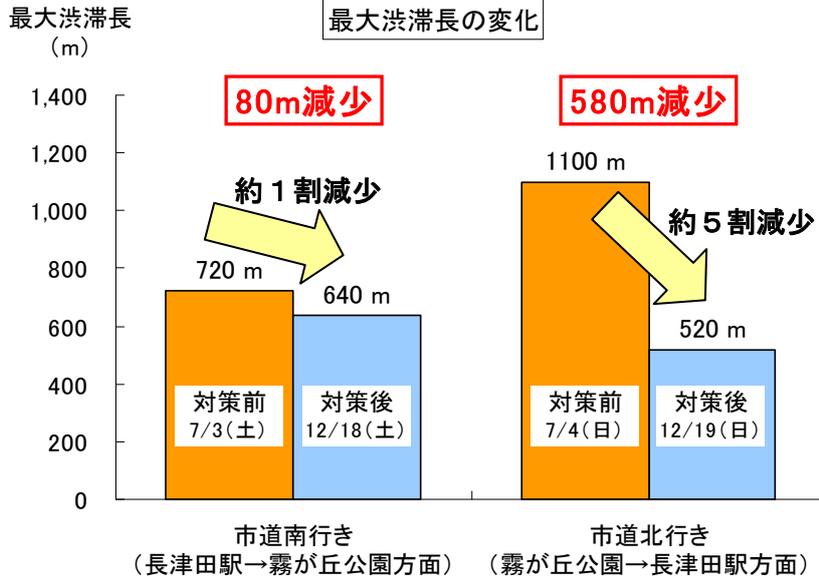
竹芝記者クラブ／神奈川建設記者会／神奈川県政記者クラブ
横浜市政記者会／横浜ラジオ・テレビ記者会

問い合わせ先

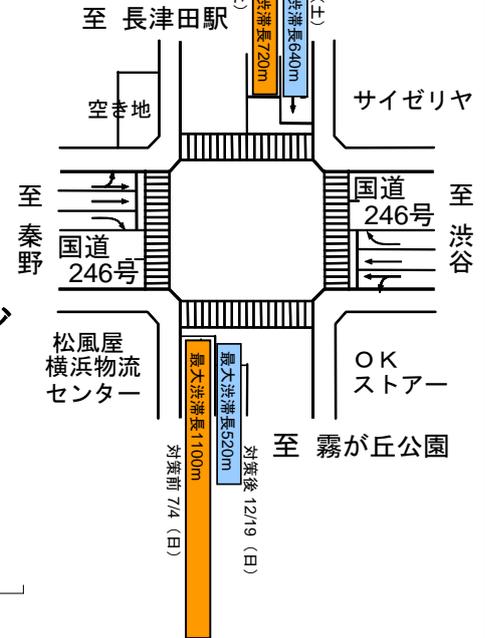
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 電話 045-311-2981(代表)
地域広報官 徳嵩 公明 (とくたけ きみあき) (内線204)
計画課長 平岩 洋三 (ひらいわ ようぞう) (内線261)

①市道霧が丘長津田線の最大渋滞長が580m減少

市道霧が丘長津田線の最大渋滞長が、市道南行きで80m減少、市道北行きで580m減少しました。



交差点平面図 (最大渋滞長の変化)



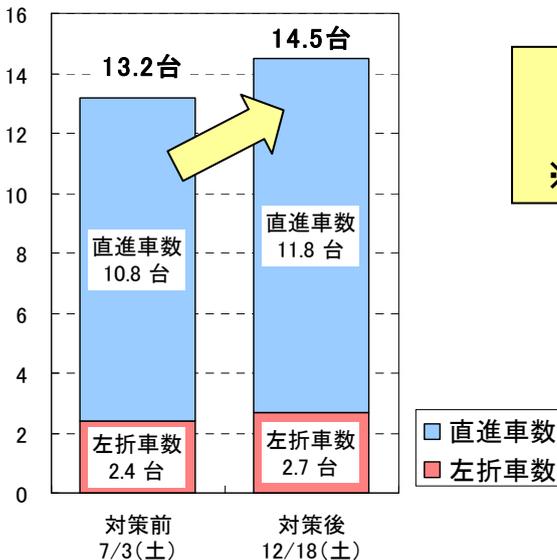
対策内容は参考資料2-1参照

②市道 [北行き] の直進・左折車の通行台数が10%増加

対策前(7/3)に比べ対策後(12/18)は、概ね通過台数が増加(平均で約10%増加)しており、**左折直進レーンの停止線前出しの効果**があったと考えられます

直進・左折車
捌き台数/
信号1サイクル

信号1サイクルあたりの
直進・左折車の捌き台数の変化



市道[北行き]の直進・左折車の
通過台数が増加!

※平均で約1.3台/サイクル(約10%)増加

<比較の考え方>

対策前・対策後ともに渋滞が発生している時間帯(土曜日の16時30分~19時)について、信号サイクル毎に左折車台数別の直進車の通過台数の平均値を集計。

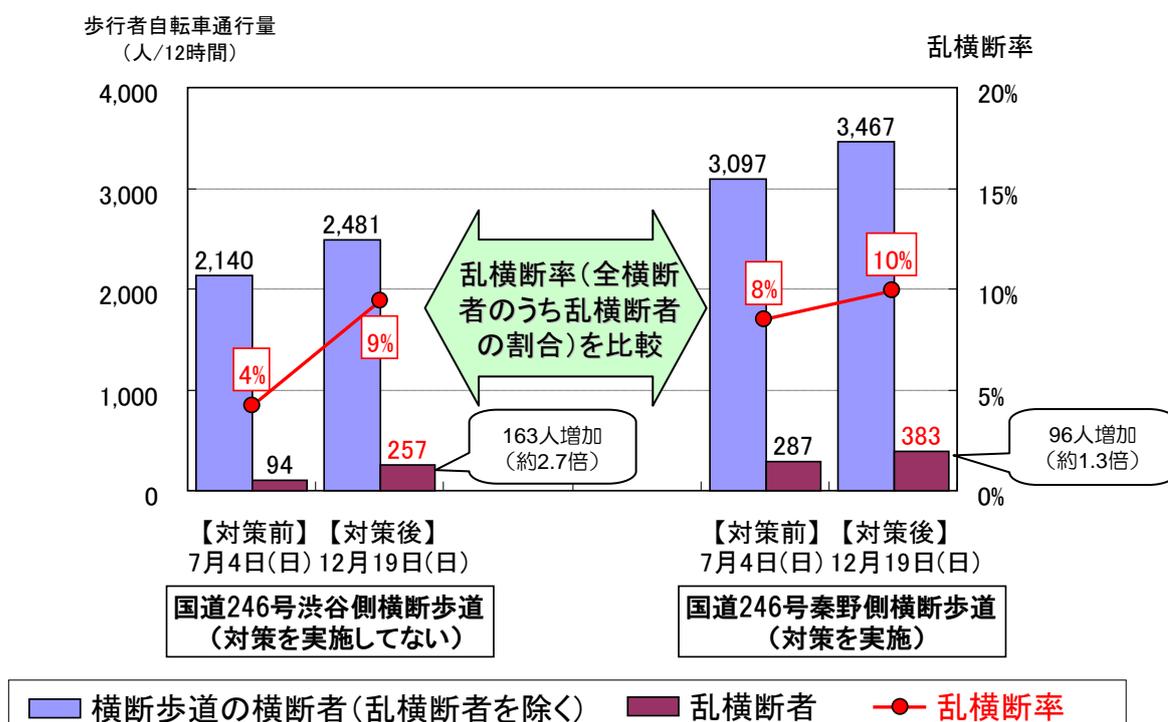
※ 信号サイクルは、対策前・対策後で同じ

対策内容は参考資料2-1参照

○乱横断者数の増加率が抑制

乱横断者数は、対策前に比べて対策後は増加していましたが、乱横断率は、「対策を実施していない」渋谷側の横断歩道よりも、「対策を実施した」秦野側の横断歩道のほうが、増加が小さいことから、**交通安全標語ステッカー設置の効果**があったと考えられます。

今後追加対策として渋谷側の横断歩道にも交通安全標語ステッカーを設置します。



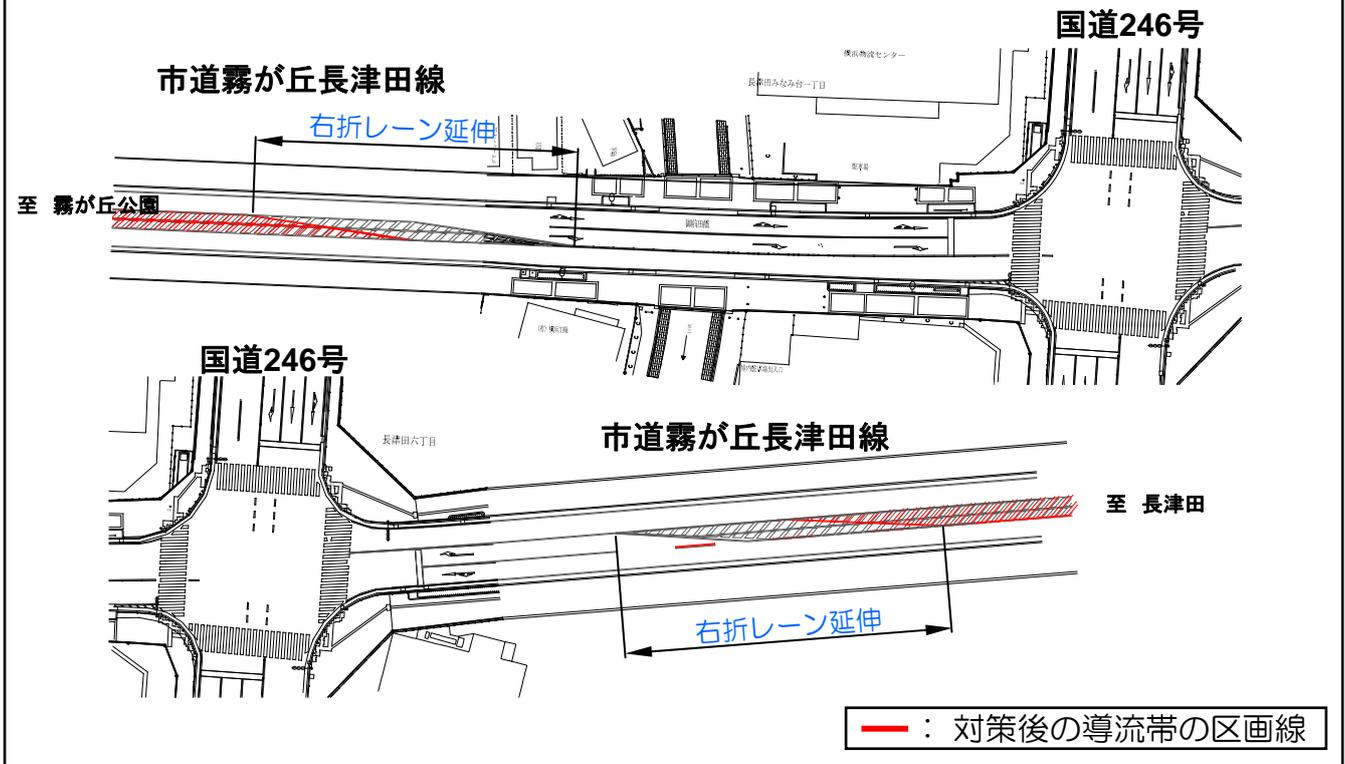
対策を実施した秦野側の横断歩道のほうが、乱横断の増加率が小さい

※乱横断とは、横断歩道上以外を横断すること

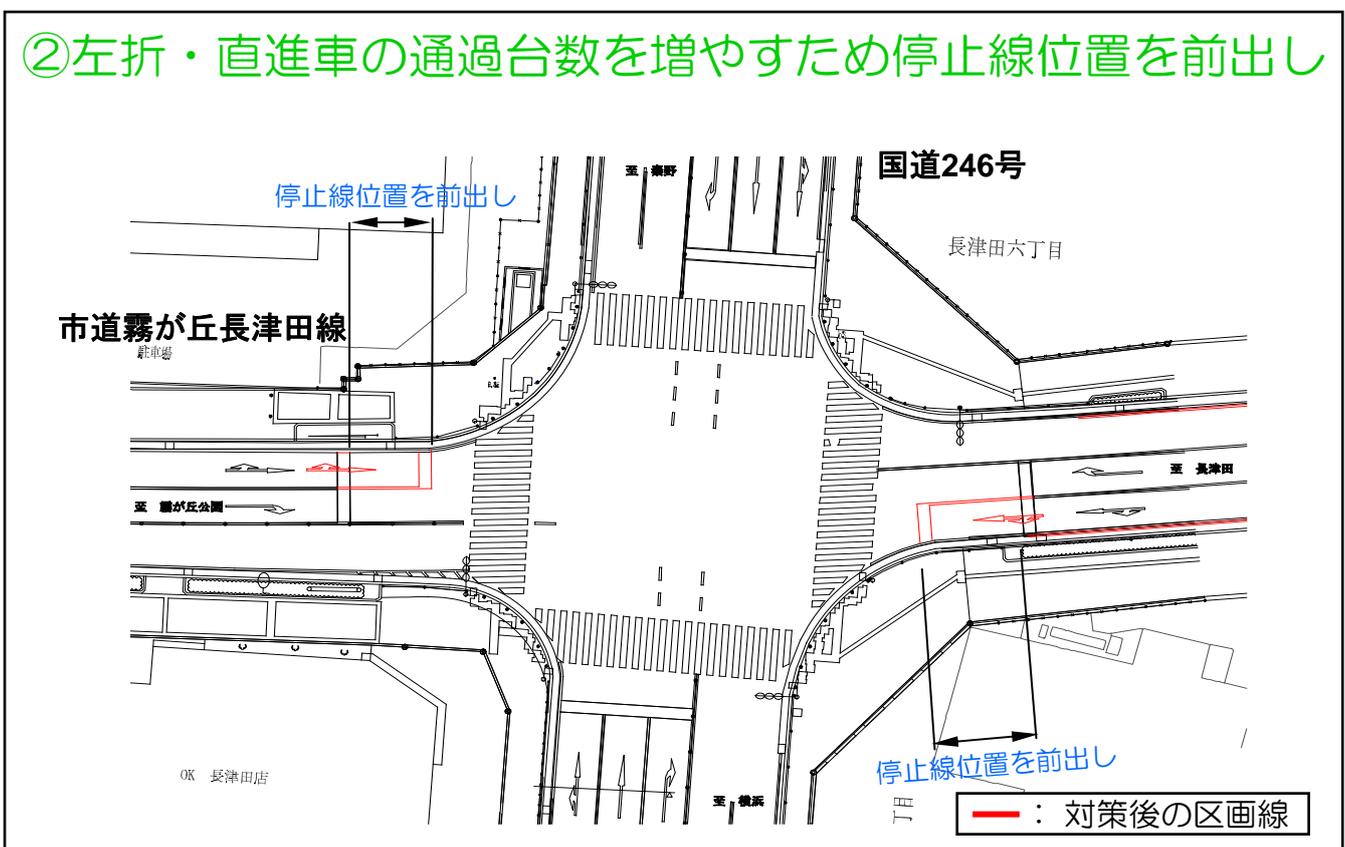
対策内容は参考資料2-2参照

右折レーン延伸と停止線位置前出しの概要

①右折車が直進車の障害とならないように右折レーンを延伸

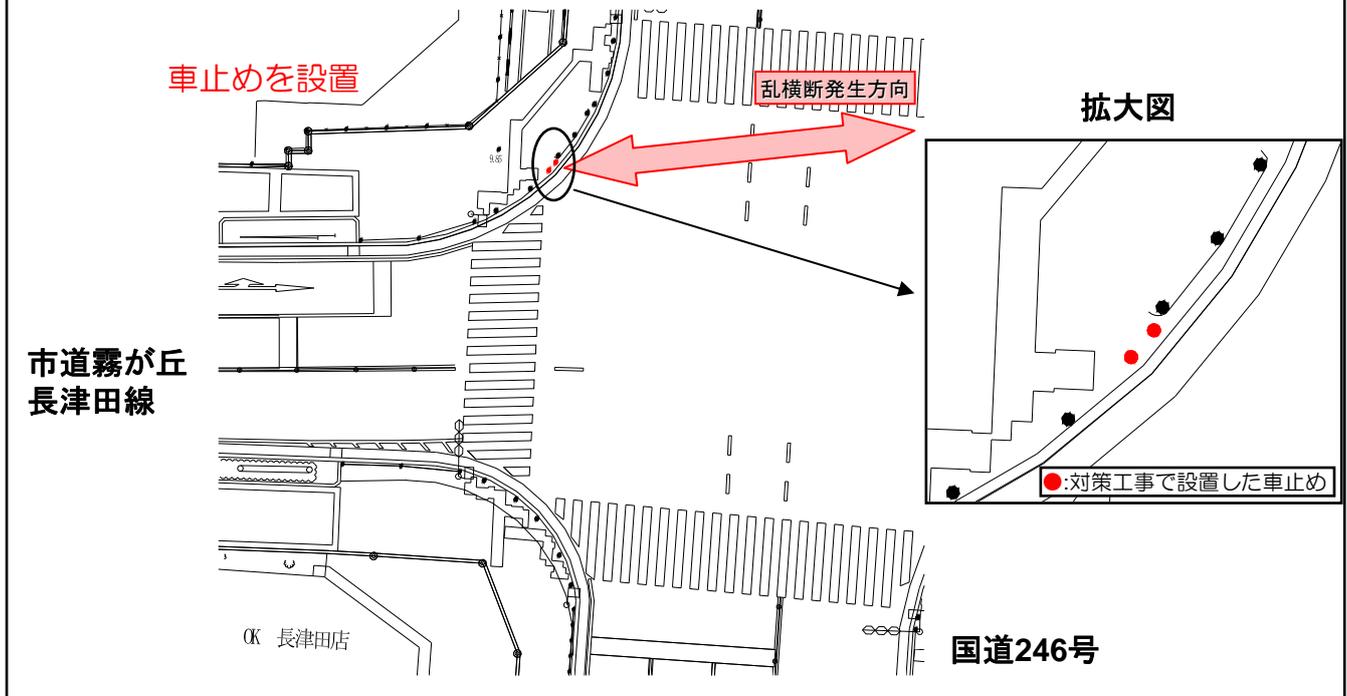


②左折・直進車の通過台数を増やすため停止線位置を前出し



実施済み対策工事の内容

③歩行者の安全を守るとともに乱横断を防止するための車止めを設置



地元の皆様と協力して

さらなる追加対策を実施。

実施済み追加対策の内容

○乱横断を防止するために地元自治会と一緒に「交通安全標語」ステッカーを設置



平成23年3月5日(土)開催の御前田交差点「効果検証結果」報告会の状況

○概要

日 時:平成23年3月5日(土)14:00～15:30

場 所:御前田自治会館

参加者:御前田自治会

国土交通省 関東地方整備局

横浜国道事務所

横浜市

緑区役所、緑土木事務所

計 15名

○報告会の内容

御前田自治会の方々と行政が協力しておこなってきた御前田交差点の渋滞対策について、「効果検証結果」報告会をおこないました。

○報告会の様子



○報告会での主な意見(御前田自治会より)

- ・左折・直進レーンの前出し効果は大きいと思う。対策効果も実感できた。
- ・今後、御前田交差点内の「交通安全標語」ステッカーを設置していない渋谷側の横断歩道にも、ステッカーの設置に協力願いたい。設置の際は多くの地元住民に参加を呼びかけたい。
- ・自治会でも引き続き自分たちでできること(乱横断禁止の呼びかけ)をやっていきたい
- ・自治会と行政で協力し対策した結果、良い効果があられた。お互いの立場でできることを話し合いながら進めていくことが大切であると実感できた。

御前田交差点 地元との意見交換会の経緯

- 平成19年12月25日 地元より御前田交差点の渋滞緩和の要望を受ける。
- 平成20年12月20日 現地診断および意見交換会を実施
- 平成21年4月15日 地元住民との意見交換会
 - ・地元に対策案の中間報告を実施
- 平成21年11月27日 地元住民との意見交換会
 - ・地元に対策案の中間報告を実施
- 平成22年1月23日 地元住民との意見交換会
 - ・地元に対策案を説明
- 平成22年4月24日 地元住民との意見交換会
 - ・地元へ対策修正案を説明。
 - ・地元より対策案の了解を得る。
- 平成22年7月27日～ 渋滞対策工事の実施
 - ・(詳細は参考資料2-1, 2-2参照)
- 平成22年8月27日 地元住民との意見交換会
 - ・渋滞対策工の実施状況を説明。
 - ・乱横断対策として看板設置の検討を始める
- 平成22年12月11日 地元住民と「交通安全標語」ステッカーを設置
- 平成23年3月5日 地元住民の皆様へ対策効果を説明

同交差点では平成20年12月20日に御前田自治会の方々と行政で道路の問題解決を行うための「現地診断」を実施し、その後も問題の解決に向けた意見交換を過去6回行うなど、対策に住民の意見を反映させた取組みを行ってきました。平成23年3月5日の報告会は今までにおこなってきた、右折レーンの延伸、停止線の前出し、乱横断防止のための車止め設置および交通安全標語ステッカー設置効果について、報告をおこなったものです。